

学校名	山ノ内中学校		
ホームページURL	生徒数 538 名		
(1) テーマ 身近な山ノ内町の様々な体験（環境・福祉） を通して、豊かな自己表現力のもてる生徒 の育成。 - 条例と高齢化を窓口にして - テーマの分類（ -ウ ） 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ <u>同一学年</u> ・3～4年 5～6年・学校・ その他（ ） 該当学年 1 年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 恒例の「環境美化活動」から少しずつ町の環境問題に目がいき始めている生徒たちに 「山ノ内町をきれいにする条例」ができた背景・現状・町の人たちの願いなどを学ぶ ことを通して、今、自分自身が「環境」に対してどのように捉え、判断し、関わってい くかを体験活動と併せて課題が持て、解決していく力を育てる。			
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等） 【前期：環境学習計画】 期日（ ）時間数 校時 5月20日（土） 「山ノ内町をきれいにする条例」を知る。 (3) (前回アンケートの集計を参考に)聞きたい質問事項疑問も合わせて検討 「条例」について役場の方のお話を聴く。 「背景」 現状、要望 質問を受ける。 学年、学級として「環境学習」について視点・ねらい・日常活動に 継続できる内容の検討。 29日（月） 環境学習について計画立案 (2) 活動内容の手順の決定 31日（水） 体験活動実施 (2) 6月17日（土） 環境学習を学年・学級でさらに敷衍し活動継続 (2) 【5月31日（水） 体験活動実施内容：1学年】 学年 学級 主な活動内容 活動範囲 1年 1・2・3組 ... Hクリーンセンター見学 (: 0269 - 22 - 7074) A班 : 1組・C教諭(33) + 2組(12) B班 : 2組・D教諭(21) + 3組(24) 職員車(E教諭・F教諭) : 3組(8) 学校発 東山着 A 1 : 30 1 : 50 B 2 : 20 2 : 40 説明			

A 2 : 0 0 ~ 2 : 3 5

B 2 : 4 5 ~ 3 : 2 0

東山発 学校着

A 2 : 4 0 3 : 0 5

B 3 : 3 0

4 組 ... アワラ湿原 見学 (植生を見る) 高山植物指導員の方のお話を聞く。

5 組 ... 「河原へ行ってクリーン作戦 & 生物調べ」(川の生物)

(5 / 2 9 実施、3 1 反省)

夜間瀬川 美化活動

時数 (9)

(5) 指導体制 (校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等)

・学年職員組織で運用

・バスはスクールバス 2 台利用

(6) 指導上の留意点 (時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等)

(7) 評価 (基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際)

【生徒の声】

・今日 H クリーンセンターへ行きました。すごく大きなクレーンやゴミがなんでも入る 6 杯分の所とかすごいものがたくさんありました。今度の総合では山ノ内のゴミ拾いをしたいです。道路とかだけじゃなくて川とかに行行ってゴミ拾いをしたいです。

... リサイクルが進んだ時代は江戸時代頃だといっていました。私はリサイクルってこんなに大事なことなんだなあと思いました。今日この総合の時間でいろんな事がわかって良かったです。

(8) 成果と課題

【成果】

・ゴミを実際に見てビックリした生徒が多かった。

・まで知らなかった事実を知り、かなり驚いたようである。山ノ内の中でも特に北志賀はまだまだ荒らされていないという事実を知り、それを守っていく、また、そういう環境を広げていきたいという気持ちに動いていった。

・あまりのゴミの多さに驚きをかくさない様子。特に煙草の吸殻 397 本もあり「誰が捨てるんだろう」「多くてビックリした」という感想が多かった。

・学級日記には「山ノ内の未来は私たちが作るんだ」「ポスターで呼びかけたい」など、次につながる意欲や方法 (方向) が見えてつながりのある展開が期待できる。

【課題】

・今後どう膨らませていくか？

・「自然を汚すことは心の傷み」という高山植物指導員さんの言葉の意味を理解し、志賀高原のような自然を増やしていくにはどのようにしていけば良いのだろうか考えていく。

・目的 (ねがい) 意識 (何のためにやっているのか) をしっかり持たせておかないと遊びになる (当たり前のことですが)

・課題が据わることの大切さは普通の授業と同じだと思う。

・班行動の時の班長の自覚を高めさせたい。

テーマの分類 横断的・総合的な課題 (ア 国際理解 イ 情報 ウ 環境
エ 福祉・健康 オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の
特色に応じた課題